

G i k a i

2023年 第69号
令和5年4月27日発行

おみたまま市議会だより



Contents

令和5年第1回定例会

- 定例会内容 P 2 - 3
- 予算特別委員会 P 4
- 審議結果等一覧 P 5 - 7
- 常任委員会 Q & A P 8
- 代表質問・一般質問 P 9 -17

祝 美野里中学校入学式
～ 3年ぶりにマスク着用緩和～

一般会計当初予算 220 億円 を 可決

令和5年第1回定例会は、2月28日から3月23日までの24日間の会期で開かれ、全34議案を審議しました。一般質問は、会派制による代表質問が3会派（令和会・真政会・同士会）で行われ、そのあと13名の議員による個人質問が行われました。

23日の最終日には、各常任委員会および予算特別委員会の委員長より報告を受け、討論、採決を行い、全議案について可決しました。また、議員発議が3件提出され、いずれも全会一致により原案可決されました。



▲電子採決の様子（3月23日）

令和5年度の新規および拡充事業



新

子育て応援事業

【子育て世帯への紙おむつ購入費用の一部助成】

事業費 4,628 千円

満1歳未満の乳児を養育する保護者に紙おむつ購入費を助成することで、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えます。

対象者…市に住所を有し令和5年4月1日以降に新生児が生まれた世帯

実施内容…新生児が生まれた世帯に対して、子ども1人あたり1万5千円分のクーポン券を交付し、乳児用紙おむつを購入する費用の一部を助成します。

新

観光振興事務費

【おみたま花火大会（仮称）の開催】

事業費 13,000 千円

大井戸湖岸公園周辺をメイン会場として、風光明媚な霞ヶ浦の湖上で花火を打ち上げ、観光振興や地域振興に寄与します。

拡充

防犯対策経費

【地域の防犯対策】

事業費 10,662 千円

行政区の防犯灯電気代を市が引き受け、行政区の負担軽減と地域の防犯対策に要する費用負担の軽減を図ります。



令和5年度予算 対前年度比 3.8%増

【会計別予算】

会計別	令和5年度	令和4年度	増減率 (%)			
一般会計	220 億	212 億	3.8 ↑			
国民健康保険（事業）	52 億 4,185	52 億 4,007	0.03 ↑			
後期高齢者医療保険	6 億 8,957	6 億 3,372	8.8 ↑			
農業集落排水	3 億 2,106	3 億 2,203	0.3 ↓			
戸別浄化槽	1 億 2,776	4,281	198.4 ↑			
霊園	1,501	3,882	61.3 ↓			
介護保険（事業）	40 億 116	40 億 2,069	0.5 ↓			
介護保険（サービス）	790	759	4.2 ↑			
小計	324 億 433	315 億 573	2.9 ↑			
企業会計	水道	収益的	収入	8 億 5,408	8 億 4,440	1.1 ↑
		支出	8 億 5,324	8 億 1,876	4.2 ↑	
	資本的	収入	7 億 202	6 億 7,257	4.4 ↑	
		支出	10 億 3,002	9 億 8,143	5.0 ↑	
	下水道	収益的	収入	11 億 8,896	12 億 1,904	2.5 ↓
			支出	11 億 4,673	11 億 7,266	2.2 ↓
		資本的	収入	12 億 9,881	8 億 3,473	55.6 ↑
			支出	16 億 8,615	12 億 1,289	39.0 ↑
	小計	収入	40 億 4,388	35 億 7,074	13.3 ↑	
	支出	47 億 1,615	41 億 8,574	12.7 ↑		
歳入（収入）計	364 億 4,821	350 億 7,647	3.9 ↑			
歳出（支出）計	371 億 2,049	356 億 9,147	4.0 ↑			

単位：万円

☑ 予算案の5つの基本目標

チェック

1 みんなの力で磨くまちづくり

- ・ふるさと寄附金事業
- ・結婚を希望する若者の支援
- ・姉妹都市との訪問団交流事業を再開 など

2 人を育てる学びの場づくり

- ・新入学児童用ランドセル購入事業の充実
- ・ICTを活用した教育の強化学校教育の充実
- ・公共ホール予約受付システムの導入 など

3 誰もがいきいきと暮らせる社会づくり

- ・带状疱疹予防接種費用の一部助成
- ・低所得妊婦の初回産科受診料の一部助成
- ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業 など

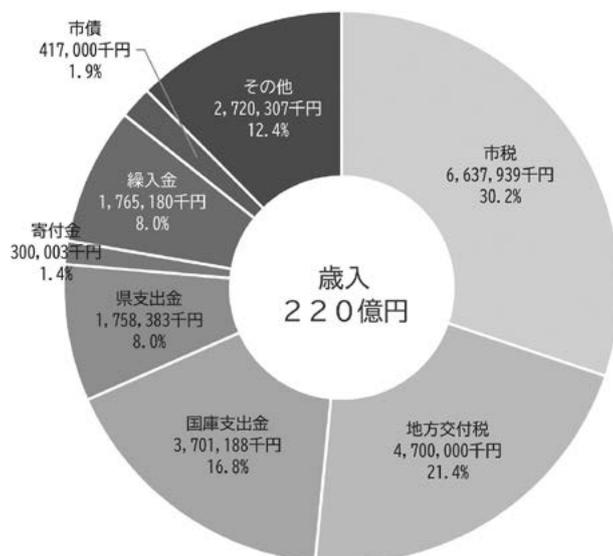
4 仕事と暮らしを創造する環境づくり

- ・道路環境、公共交通の充実
- ・空き家対策の推進
- ・農産物等のブランド化、販路拡大 など

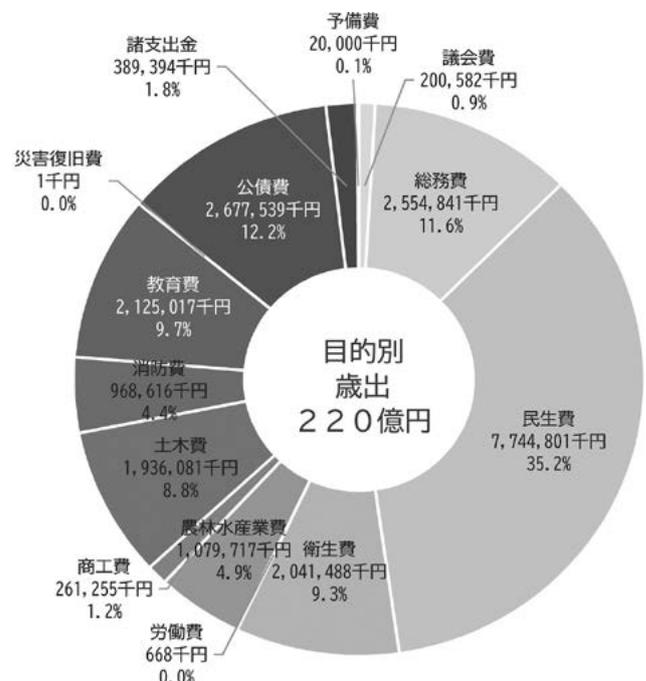
5 安全・安心な生活を支える体制づくり

- ・上下水道の整備の推進
- ・防災対策の充実
- ・消防、救急体制の充実 など

【一般会計歳入】



【一般会計歳出】

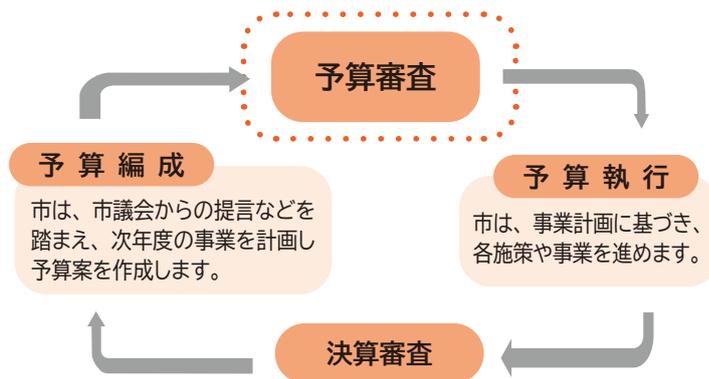


議会が市の予算を チェック

予算特別委員会で予算案を審議

3月定例会では、市長から提出された令和5年度の予算案について、市議会が「市民の税金がどのようなことに使われるのか」「この事業で期待される効果は」「この経費は必要な経費なのか」などの観点から、慎重に審査を行いました。

審査は文書による質疑通告制で行われ、さらに不明な点について質疑しました。審査の過程で委員からどのような質疑や要望があったのか、その一部をお知らせします。



予算編成

市は、市議会からの提言などを踏まえ、次年度の事業を計画し予算案を作成します。

予算執行

市は、事業計画に基づき、各施策や事業を進めます。

決算審査

予算議案

出産育児一時金事業 予算額 20,009 千円

議会の チェック

出生数も低下している中、一時金の増額を見込んだ根拠を伺う。

回答

政府の閣議決定により、子ども・子育て支援の拡充妊産婦の経済的負担軽減のため、令和5年4月の出生から、出産育児一時金が50万円に増額される。出生数は、令和4年度と同数の40人で見込んでいて、1人当たり8万円の引き上げにより320万円の歳出増となっている。



予算議案

空家等対策推進事業 予算額 5,072 千円

議会の チェック

空き家対策支援補助金の利用促進の内容について、どのようなことに対する補助金なのか。

回答

「小美玉市空き家バンク」の利用促進を目的とし、空き家バンク登録物件の取得または賃借に要する費用を対象として、5年以上居住すること等を要件に補助するもの。

予算議案

農業振興補助事業 予算額 20,409 千円

議会の チェック

先端技術導入支援事業補助金6,000千円とは、どのような新技術を導入した農業者が対象となるのか。

回答

ICTを活用した高度な環境測定器や環境制御技術、農業及び肥料散布ドローン、GPS内蔵自動走行トラクター等を導入したスマート農業を推進する農業者を対象に、県の儲かる産地支援事業に上乗せして、導入費用の3分の1、100万円を限度に補助するもの。



令和5年 第1回定例会 審議結果等一覧 (全38件)

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■条例 (11件)				
1	新まちづくり構想等策定委員会設置条例の制定について	小美玉市新まちづくり構想等の策定に伴い、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関である委員会の設置に関し必要な事項を定めるもの	総務	可決
2	小美玉市個人情報保護法施行条例の制定について	個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、同法の施行に関し必要な事項を定めるもの	総務	可決
3	行政組織機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例について	行政組織機構改革に伴い、関係条例について所要の改正を行うもの	総務	可決
4	小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	総合計画審議会において、新たに行政評価を担うことに伴い、高度な知識や経験を有する総合計画審議会会長の報酬について改正するもの	総務	可決
5	小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	行財政改革の更なる推進に向けて、補助金等審議会委員及び行財政改革懇談会会長の報酬について改正するもの	総務	可決
6	小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	老人福祉法に基づき設置されている小美玉市老人ホーム入所判定委員会の委員の報酬額を規定するため、所要の改正を行うもの	総務	可決
7	小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	監査委員の報酬額を見直し、県内類似団体との均衡を図り、監査委員の充実強化に資するため、この案を提出するもの	総務	可決
8	小美玉市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額について変更するため、所要の改正を行うもの	文教福祉	可決
9	小美玉市基金条例の一部を改正する条例について	茨城空港周辺の整備及び産業等の活性化を図ることを目的に、新たに小美玉市茨城空港周辺地域活性化基金を設置するため、所要の改正を行うもの	産業建設	可決
10	小美玉市産業活動の活性化及び雇用機会の創出に関する条例の一部を改正する条例について	市内における産業活動の活性化及び雇用機会の創出を継続して実施することに伴い、所要の改正を行うもの	産業建設	可決
11	小美玉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令その他関係省令の改正に伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	可決

トルコ・シリア地震 に対し 救援金を寄託

令和5年2月6日にトルコ南東部及びシリア北西部において発生した地震では、甚大な被害が発生しています。この地震で被災した人々を支援したいと市議会議員全員が賛同し、茨城新聞社を通じて10万円を寄託しました。



▲写真左から荒川議長、石井副議長

議案番号	案件名	内 容	付託委員会	審議結果
■当初予算（5件）				
24	令和5年度小美玉市農業集落排水事業特別会計予算	予算総額 3億2,106万5千円（前年度比：△0.3%）	予算特別	可決
25	令和5年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計予算	予算総額 1億2,776万4千円（前年度比：198.4%）	予算特別	可決
26	令和5年度小美玉市霊園事業特別会計予算	予算総額 1,501万1千円（前年度比：△61.3%）	予算特別	可決
28	令和5年度小美玉市水道事業会計予算	【収益の収入及び支出】 収入額 8億5,408万円（前年度比：1.1%） 支出額 8億5,324万6千円（前年度比：4.2%） 【資本の収入及び支出】 収入額 7億202万円（前年度比：4.4%） 支出額 10億3,002万2千円（前年度比：5.0%）	予算特別	可決
29	令和5年度小美玉市下水道事業会計予算	【収益の収入及び支出】 収入額 11億8,896万9千円（前年度比：△2.5%） 支出額 11億4,673万1千円（前年度比：△2.2%） 【資本の収入及び支出】 収入額 12億9,881万6千円（前年度比：55.6%） 支出額 16億8,615万9千円（前年度比：39.0%）	予算特別	可決

■補正予算（11件）

12	令和4年度小美玉市一般会計補正予算(第11号)	【補正額】 5億2,516万1千円 【補正後額】 240億1,496万4千円	各委員会	可決
13	令和4年度小美玉市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	【補正額】 13万円 【補正後額】 52億5,497万4千円	文教福祉	可決
14	令和4年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）	【補正額】 1,114万3千円 【補正後額】 6億5,336万4千円	文教福祉	可決
15	令和4年度小美玉市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	【補正額】 △360万円 【補正後額】 3億2,903万円	産業建設	可決
16	令和4年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計補正予算（第3号）	【補正額】 30万円 【補正後額】 4,584万9千円	産業建設	可決
17	令和4年度小美玉市霊園事業特別会計補正予算（第3号）	【補正額】 △799万7千円 【補正後額】 3,207万8千円	総務	可決
18	令和4年度小美玉市介護保険特別会計補正予算（第3号）	【補正額】 △8,515万8千円 【補正後額】 41億2,956万3千円	文教福祉	可決
19	令和4年度小美玉市水道事業会計補正予算（第4号）	【収益の収入及び支出】 収入【補正額】 2万円 【補正後額】 8億4,441万8千円 支出【補正額】 △164万4千円 【補正後額】 8億3,281万1千円 【資本の収入及び支出】 収入【補正額】△1,732万3千円 【補正後額】 6億7,954万9千円	産業建設	可決
20	令和4年度小美玉市下水道事業会計補正予算（第3号）	【収益の収入及び支出】 収入【補正額】 △1,507万5千円 【補正後額】11億9,870万5千円 支出【補正額】 △2,798万9千円 【補正後額】11億4,970万円	産業建設	可決
31	令和4年度小美玉市一般会計補正予算（第12号）	【補正額】 5億1,725万2千円 【補正後額】 245億3,221万6千円	—	可決
32	令和4年度小美玉市水道事業会計補正予算第5号	【補正額】 2,200万円 【補正後額】 8億6,641万8千円	—	可決

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
------	-----	----	-------	------

■人事案件（2件）

33	副市長の選任につき同意を求めることについて	副市長の任命につき、議会の同意を求めるもの	—	同意
34	監査委員の選任につき同意を求めることについて	監査委員の選任につき、議会の同意を求めるもの	—	同意

■その他（1件）

30	公の施設の広域利用に関する協議について	小美玉市と石岡市、かすみがうら市、行方市及び茨城町における公の施設の広域利用に関する協定について、対象施設の変更に伴い、改めて協定を定めることについて協議するもの	総務	可決
----	---------------------	---	----	----

■発議（3件）

1	小美玉市議会の個人情報の保護に関する条例について	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により個人情報保護法が改正されることに伴い、議会においては自律的な対応のもと個人情報の適切な取扱いを図るため、議会における個人情報の保護に関する条例を制定するもの	—	可決
2	小美玉市議会委員会条例の一部を改正する条例について	議会委員会条例の常任委員会の所管について、新たに設置される財務部を総務常任委員会の所管とするなど、所要の改正をするもの	—	可決
3	小美玉市議会委員会条例の一部を改正する条例について	今後の議会報告会について柔軟な形に対応できるように改正するもの	—	可決

【賛否が分かれた議案等】（5件）

※賛否が分かれた議案等の採決には、議長は参加しません。

No	議案に対する賛否 賛成：○ 反対：●																					付託委員会	審議結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20			
		山崎晴生	真家功	戸田見良	香取憲一	長津智之	島田清一郎	鈴木俊一	村田春樹	植木弘子	石井旭	谷仲和雄	長島幸男	岩本好夫	福島ヤヨヒ	小川賢治	大槻良明	田村昌男	市村文男	野村武勝			
21	令和5年度小美玉市一般会計予算	予算総額 220億円（前年度比：3.8%）																		予算特別	可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○			欠	欠
22	令和5年度小美玉市国民健康保険特別会計予算	予算総額 52億4,185万4千円（前年度比：0.03%）																		予算特別	可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○			欠	欠
23	令和5年度小美玉市後期高齢者医療保険特別予算	予算総額 6億8,957万7千円（前年度比：8.8%）																		予算特別	可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○			欠	欠
27	令和5年度小美玉市介護保険特別会計予算	予算総額（事業）40億116万1千円（前年度比：16.8%） （サービス）790万円（前年度比：4.2%）																		予算特別	可決		
		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	欠

■請願

1	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	請願者：茨城県労働組合総連合 議長 白石 勝巳 紹介議員：福島ヤヨヒ	産業建設	不採択
		● ● ● ● ● ● ● ● 欠 ● ● ● ● ○ ● ● ● 欠 欠		

小美玉市議会は3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）を設置しています。
議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。3月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

総務

(委員)
◎植木 取本 井田 家
○香岩 石戸 真

◆ 小美玉市新まちづくり構想等策定委員会
設置条例制定 【議案第1号】

問 策定委員会委員の構成について詳細を伺う。また、女性の割合をどのように考えているか。

答 区長会、学区コミュニティ、公民館運営審議会、図書館協議会、学区PTAなどを想定している。構成団体を注視しながら、女性委員も多く入ってほしいと考える。

問 分科会の進め方について、方向性は決まっているのか。

答 全体共有を図るため全体会議の後に、分科会に分かれ協議し、意見集約等を図った上で、改めて全体会議で合意形成を図りたい。

◆ 高齢者等ごみ出し支援事業 【議案第12号】

問 高齢者等ごみ出し支援の利用件数は。

答 現在の実施行政区は6行政区。全体の利用世帯数は14世帯、ごみ出し支援の協力者は23名である。

文教福祉

(委員)
◎村田 村島 仲木 崎
○島市 福谷 鈴木 山

◆ 地域における自殺対策の強化 【議案第12号】

問 県の自殺対策強化交付金事業費補助金の目的は、地域における自殺対策を強化するためと思うが、小美玉市の自殺対策の取組である、こころの健康相談の概要は。

答 健康増進課では、こころの健康相談事業を当初36回で計画。その中でデイケア事業を月1回実施する予定で計画を立てているが、年間事業で希望される相談者は少なく、随時、保健センターで相談を受けている状況である。

◆ 奨学金基金 【議案第12号】

問 今後、コロナウイルスの影響により家計が急変し経済的に困窮した学生等が増加することが見込まれるための増額とのことだが、奨学金制度の周知方法は。

答 市の広報紙とウェブサイトで周知している。



産業建設

(委員)
◎島津 村村 槻川
○長野 田大小

◆ 小美玉市空港周辺地域活性化基金 【議案第9号】

問 新しい基金が創設されたが、基金の原資はどのようなものなのか伺う。

答 朝日航洋と茨城空港周辺地域活性化に関する協定書を締結し、朝日航洋から2億円の寄付を受け、新拠点事業に必要な土地までの進入路及び進入路周辺工事に活用するものである。



▲茨城空港周辺の様子

◆ 経営転換協力金補助金 【議案第12号】

問 農地中間管理事業の経営転換協力金補助金の経営の転換した実績について伺う。

答 3年度実績で、経営転換13名、629アールを転換している。また、リタイアが6名、382アールを、そのほか、相続で2名、24アール、合計で21名の方が転換をしている。

代表質問3会派 個人質問 13 名



皆さんの生活にかかわる市政全般について、現状や方針などを要約して掲載しており、QRコードから発言の様態も視聴可能です。

代表質問とは

会派を代表した議員が、市長の施政方針や予算編成方針に対して通常、第1回定例会または市長改選後の最初の定例会で行われます。

- P 10 令和会
真政会
- P 11 同士会
福島 ヤヨヒ
- P 12 島田 清一郎
山崎 晴生
- P 13 石井 旭
谷仲 和雄
- P 14 鈴木 俊一
長津 智之
- P 15 長島 幸男
戸田 見良
- P 16 真家 功
村田 春樹
- P 17 小川 賢治
香取 憲一

※質問順

本会議のライブ中継や録画映像が視聴できます

インターネットによる映像配信を行っています。パソコンやスマートフォンから視聴できますので、ぜひご利用ください。



ライブ中継

LIVE が表示されている会議を選択し、ライブ中継をご覧ください。

録画映像配信

インターネット中継を行った過去の本会議をご覧ください。

会議名から検索

会議を指定して、録画映像をさがすことができます。



議員名から検索

議員を指定して、録画映像をさがすことができます。



DXの中で誰も取り残さない方策をどう捉えるか

高齢者目線の行政サービスや選択肢を増やしていく



香取 憲一



令和会

Q 市政運営推進における3つの基本的な考え方のうち、DX推進について高齢者層等への対応はどうしていくのか。

A 市長 スマホ教室の開催とその移動手段等の検討等高齢者目線に立った行政サービスや選択肢を増やしていく。

Q 財政基盤の健全化について

A 市長 歳入面において「ふるさと納税」による財源確保と返礼品に使われる地場産品の育成、企業誘致に伴う税収増と地元雇用の増加を着実に推進する。

Q 第2次総合計画の5つの基本的目標に基づく主要施策の取り組みのうち、台湾との姉妹都市締結も視野に入れてはどうか。

A 市長 台北便が再開し、高雄とのチャーター便も就航する。県も台湾との関係深化を期待している。これをチャンスと捉え、多方面から情報収集しながら交流を模索していく。

Q 子ども・子育て支援策充実について、今一歩大きく踏み出し、学校給食

費の無償化・18歳高校卒業までの医療費を無償化にして大なたを振るうべきではないか。

A 市長 給食費については「企業版ふるさと納税」の活用等財源確保を図り、恒久的な無償化について関係部署と協議をしている。18歳までの医療費は、子どもたちの医療費負担のあり方について充分協議し医療費支援策を検討していく。

Q 茨城空港を核としたまちづくり構想に対する市長の想いは。

A 市長 茨城空港周辺を核とした地域の活性化は、本市の賑わいづくりに欠かせません。企業誘致を推進し、県や他自治体と連携を強化して地域の資源を最大限に活かした賑わいを創出するまちづくりを進める。



行政区の防犯灯の電気料は

新年度より市が引き受ける



鈴木 俊一



真政会

Q 国道6号小美玉道路の4車線化については。

A 市長 B案、バイパス案が選定され、早期の概略計画の決定や都市計画決定に向けて要望するとともに、道路整備事業の早期実現に向けて地域の皆様の意見をしっかりと踏まえ、国への要望活動を通じて強く働きかける。

Q 空き家対策補助制度は。

A 市長 修繕・取得に対しては50万円を限度に、家財等の処分は10万円を限度に、要した費用の一部を補助するもので、2件ずつ見込んでいる。特定空き家等には、解体に要する経費の2分の1以内で限度額50万円とし、件数は5件を見込んでいる。

Q 学校教育の充実については。

A 市長 学校司書は2名を採用し、図書貸し出しや環境整備、授業支援等の業務である。美野里地区の学校で1名、小川・玉里地区の学校で1名を配置し、毎週1回程度、それぞれの学校を巡回す

る予定である。また、ALITの強化は、近隣市町村の中学校では、週4回の授業のうち2回程度のALITの配置だが、本市では、増員により小学校は100%、中学校もほぼ全ての授業でALITの配置が可能となる。

Q 本市のスポーツ団体への支援については。

A 市長 スポーツ少年団及びスポーツ協会を通じて、加盟する団体に対して助成金を交付するとともに、施設使用料の減免のほか、指導者の育成などの支援を引き続き行っていく。

Q 行政区の防犯灯については。

A 市長 行政区の加入率の低下や費用負担に対する不公平感、電気代の値上げによるさらなる行政区負担増が見込まれることから、行政区の防犯灯を市が引き受け、行政区の負担の軽減と地域の防犯対策に要する費用負担の公平性の確保を図っていく。



施政方針から令和5年度予算編成方針を問う

事業の取捨選択を行い全ての経費を盛り込む通年予算とした

谷仲 和雄



同 士 会

- Q** 施政方針を踏まえ、令和5年度予算案371億2049万円が上程された。予算編成方針を問う。
- A** 市長 予算編成方針は、DX推進計画によるスマート自治体の推進など予算編成を変革する好機と捉え事業の取捨選択を行い、全ての経費を盛り込んだ通年予算としている。枠配分対象経費については、燃油高騰に伴う光熱費上昇もあり、一律での一般財源抑制策を行えないため財政調整基金繰入額は増えている。
- Q** ふるさと納税による財源確保と並行し、中長期の視点から茨城空港や地域のバイオマス、これら地域特性を活かした産業の創出・育成による雇用創出へのビジョンを明確に打ち出すことが重要と考えるが、見解を問う。
- A** 市長 商工観光の振興において、地元雇用を確保するため空港テクノパークへの企業誘致を掲げている。現在進めている航空産業関連企業の茨城空港隣接地への移転をはじめ、国道6号小美玉道路の早期実現により、新規雇用の創出や定住人口の増加が見込まれることから、市の将来を見据え小美玉市新まちづくり構想の策定を進めている。
- Q** 切れ目ない子育て支援から包括的相談支援の重層的支援体制整備を見据えた専門職種の確保について、正規職員のキャリア採用、労働者派遣契約、業務委託、ハイブリッド方式による福祉専門職の確保が必要と考えるが、見解を問う。
- A** 市長 福祉事業を推進する上で専門職人材の確保は大変重要と考えている。正規職員のキャリア採用のほか、労働者派遣契約、業務委託を含め、人材の確保に努める。

一般質問



農と食の拠点としてそ・ら・らの再生を

意見交換の場を作り小美玉市の食と農を見つめ直す

福島 ヤチ



- Q** そ・ら・らは当初の構想を生かし目的に合った運営が行われているのか。今後そ・ら・ら拡張も含めたまちづくり構想を進めるため、市民の声を十分反映して進めてほしい。
- A** 産業経済部長 そ・らは農と食にこだわり交流人口拡大を目的とした施設だが、新型コロナウイルスにより、レストランの使用変更など大きな影響を受けている。今後拡張を含め新まちづくり構想策定に向け、市民や団体などと交流の場を持ち、策定委員会と愛着ある施設を目指していく。
- Q** 野焼きを行う際は周辺住民への十分な周知と安全管理の徹底を図ってほしい。
- A** 消防長 野焼きは該当する消防届出を行う必要がある。周知は回覧で行っているが、近隣の住宅に一声かけるよう配慮する。
- Q** 環境フェスを通して環境への関心が高まっているか。環境かるたの作成と活用はどう進められるのか。
- A** 市民生活部長 エコチャレンジは応募数が昨年の2倍以上と関心が高まっている。子供からのかかるたの標語も1470作品が寄せられ44を決定した。今後絵札を完成させ、学校など様々などところで取り組んでいただく。
- Q** 子供の医療費完全無料化、窓口負担ゼロの丸福制度の実現と、国保税子供の負担ゼロの施策実現を願う。
- A** 保健衛生部長 子供の医療費は魅力向上策として、財政を考慮し検討を重ねる。子供への均等割りりは国が未就学児、市独自に18歳まで5割減免を行っている。国民健康保険は運営も厳しく負担ゼロは困難と考える。
- Q** 市職員すべてが格差なき待遇の配慮がされているか。男女の格差なき職員配置はされているか、そのためのスキルアップ対策はできているか。女性部長の誕生を願う。
- A** 総務部長 職員採用については資格の必要な職種と一般職に分けて、能力評価や面接等で実施している。女性管理職は人材育成を図り、スキルアップを進めていく。

公立中の部活動地域移行と公共施設計画

生徒の望ましい成長を保障できる体制整備



島田 清一郎



Q文科省より、公立中学校の休日部活動の地域移行の指針が示されているが、民間団体の指導者との教育連携はどのように図られるか伺う。

A教育長 現在、市では地域移行への体制整備を進めている。課題の一つに、平日と休日とで指導者が異なることにより、指導内容や練習方法等に違いが生じて生徒が混乱したり、練習量が多く生徒の負担となること等がある。健全な発育・発達に弊害が出る事態は避けなければならぬ。活動方針や活動状況、スケジュール等の共通理解を図るとともに、生徒個々の活動状況の情報共有を綿密に行い、学校と民間団体とで生徒の望ましい成長を保障できるような体制整備に努める。

Q羽鳥駅東側にある市所有地に図書館を建設する計画の状況は。

A文化スポーツ振興部長 小美玉市公共施設建築物系個別施設計画の変更案で、図書館機能の導入も視野に入れた羽鳥駅東口複合施設を設置する。羽鳥駅東口複合施設については、現在、策定を進めている。「新まちづくり構想」の中で新交流拠点施設の一つに位置づけている。

Q総合体育館建設に向けての検討の状況について伺う。

A文化スポーツ振興部長 総合体育館の建設については、市スポーツ協会をはじめ、市内の各種スポーツ団体などから要望がある。市民の生きがいづくりや健康増進、子どもたちの健全育成などの拠点となる施設であり、災害時には避難所としても活用できるなど、様々な機能を併せ持つと認識している。小美玉市公共施設建築物系個別施設計画と整合性を図りながら、多面的に検討する。

Q文科省より、公立中学校の休日部活動の地域移行の指針が示されているが、民間団体の指導者との教育連携はどのように図られるか伺う。

A教育長 現在、市では地域移行への体制整備を進めている。課題の一つに、平日と休日とで指導者が異なることにより、指導内容や練習方法等に違いが生じて生徒が混乱したり、練習量が多く生徒の負担となること等がある。健全な発育・発達に弊害が出る事態は避けなければならぬ。活動方針や活動状況、スケジュール等の共通理解を図るとともに、生徒個々の活動状況の情報共有を綿密に行い、学校と民間団体とで生徒の望ましい成長を保障できるような体制整備に努める。

Q羽鳥駅東側にある市所有地に図書館を建設する計画の状況は。

A文化スポーツ振興部長 小美玉市公共施設建築物系個別施設計画の変更案で、図書館機能の導入も視野に入れた羽鳥駅東口複合施設を設置する。羽鳥駅東口複合施設については、現在、策定を進めている。「新まちづくり構想」の中で新交流拠点施設の一つに位置づけている。

Q総合体育館建設に向けての検討の状況について伺う。

A文化スポーツ振興部長 総合体育館の建設については、市スポーツ協会をはじめ、市内の各種スポーツ団体などから要望がある。市民の生きがいづくりや健康増進、子どもたちの健全育成などの拠点となる施設であり、災害時には避難所としても活用できるなど、様々な機能を併せ持つと認識している。小美玉市公共施設建築物系個別施設計画と整合性を図りながら、多面的に検討する。

高齢者世帯のセーフティネット構築について救急医療情報キット導入を提案

有効な手法であると認識し、総合的なセーフティネットの構築に向け調査研究を進めていく



山崎 晴生



Q高齢者独り暮らしの世帯、と夫婦世帯が増加している状況下において、緊急時のセーフティネットに関する小美玉市の現状と対策、問題点について。

A福祉部長 避難行動要支援者名簿を作成しており、現在、名簿の対象者数は8441名となっており今後高齢化率の上昇とともに対象者も増加すると推測している。本市では、200世帯に緊急通報システムを導入し、さらに見守り協定を締結した事業所による見守り支援により緊急時には、石岡警察署に相談するほか、警察署からの高齢者虐待通報等に対応しており、平時よりセーフティネットについて連絡、連携に努めている。問題点として、避難行動要支援者名簿に必要な情報開示に難色を示されることが課題。

【提案】自身で緊急連絡先等の個人情報や情報し、緊急時に他者が情報活用できる救急医療情報キット導入を提案する。(玉里地区第三東宝団地の事例も紹介)

Q施設入所者及び在宅の要介護者等の移動困難者に対するマイナンバーカード取得について市の対応を伺う。

A市民生活部長 マイナンバーカードの申請時または交付時に1度は本人確認をする必要がある。しかし、オンライン申請では、スマートフォン等で申請ができ、本人でなくてもサポートする方による申請が可能。また、カード交付については、本人が病気または身体の障害その他やむを得ない理由による場合には、委任状により代理人がマイナンバーカードの受取りが可能である。また、新型コロナウイルス感染症の影響で控えていた出張申請も、今後はオンライン申請の周知とともに施設への出張申請を実施していきたいと考えている。

Q施設職員や家族の負担が大きいと感じるがどのように対応していくのか。

A市民生活部長 政府は2023年度のカード作成を支援する、また、出張申請を受入れに当たってのポイントを示した施設用のマニュアルもつくる方針であり、本市では提供されたリストやマニュアルを参考に施設と連携を図り、柔軟に対応していく。

【要望】国の方向性がなかなか定まらない、この問題に対して状況に応じ、国の示す手続方法の下でスムーズな取得ができるよう、行政と介護現場が協力できる策を講じるよう切に要望する。



旧美野里地区の小学校にスクールバス通学導入を提案する

統合校との整合を図りながら、今後も状況を注視していく

石井 旭



Q市内すべての小学生がスクールバス通学の利用の環境に無いことは、不公平感が残る。導入を提案する。

A企画財政部長 現在、統合校での通学支援に加え、旧美野里地区の堅倉小学校で、通学距離が約3キロ以上となる児童への通学支援を行っているが、堅倉小学校以外の旧美野里地区の小学校で、該当する児童がいないため、通学支援を行っていない。基準について、これまで統合校の通学支援としていたため、旧美野里地区の小学校の通学支援について統合校との整合を図りながら、今後も状況を注視していきたい。

Q『ミニコミュニティバス』『おみたん号』に令和3年9月より変更し、ルート変更など、改善されたが、現在、6ルートの運行状況と問題点を伺う。

A企画財政部長 令和3年9月から令和4年8月の1年間のバス利用者は3万6106人であり、循環型で運行していた令和2年9月から令和3年8月の1年間で比べると、1万2640人の利用が増である。また、デマンドタクシーの導入やバス

停の位置の変更、住んでいる地区にもバスを運行してほしい、本数を増便などの意見や日中の乗車が少ないなどの課題を地域公共交通会議に示して、本市における公共交通の方向性を協議する。

Q『ふるさと納税』の返礼品は、何品目あるのか。また、収支状況は。さらに、『魅力発信課』を設けたが、取り組みについて伺う。

A企画財政部長 ふるさと納税の返礼品数は、現時点で239品で、令和5年度寄附金額は3億円を見込んでおり、それに関わる科目の支出も増額している。令和4年度と比べて大きく支出が増額している科目としては、事業者への返礼代金や寄附者への配送料、ふるさと納税ポータルサイトの利用料等である。新たに創設される魅力発信課では、ふるさと納税を取扱うポータルサイトの増設や、返礼品の新規開拓など、ふるさと納税運営業務委託業者のノウハウを活用しながら、ふるさと納税ポータルサイト内の魅せ方を工夫したページづくりや選ばれやすい返礼品を増やしていきたい。

地域包括支援センター専門職確保への体制整備について

提案の社協による労働者派遣事業についても「調査研究を進め専門職確保に努める」



谷仲 和雄



Q居宅介護支援事業所へのケアプラン作成委託率は令和3年度82%から令和4年度93%と11%増える見込み。要因として、総合事業に伴うケアプラン作成数の増加は然る事ながら、地域包括支援センター専門職の慢性的な人員不足がある。こうした状況を踏まえ、正規職員のキャリア採用をはじめ社会福祉法人神栖市社会福祉協議会の労働者派遣事業を参考に、労働者派遣契約に基づく専門職確保について早急に体制整備を図る必要がある。市長の見解を伺う。

A市長 地域包括支援センター専門職の確保は大変重要と捉えている。提案の社会福祉協議会による労働者派遣事業についても調査研究を進め専門職確保に努める。

Q子育て相談窓口の一元化とアウトリーチ型支援について、健診と福祉の横断的な連携において必要な支援に繋げるため連携調整を担うコーディネーターや専門部署が必要になってくると考えるが、見解を伺う。

A教育部長 子ども家庭総合支援拠点を令和5年4月から開設する。また、令和6年度中を目指し「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」を統合し「家庭相談センター」を設置する方向で調整している。相談窓口を一本化する中で子育て支援施策と母子支援施策との連携調整を図り、より効果的な支援に繋げていく。アウトリーチ支援を含め支援が必要な方々に対して関係機関や地域の方々

と連携し対応していく。



▲玉里総合支所福祉事務所内「地域包括支援センター」

つくばエクスプレス (TX) を茨城空港へ

23,023名の署名を茨城県に提出した



鈴木 俊一



Q 少子化対策・子育て支援について

A 副市長 結婚支援が少子化対策の入口であると考え、石岡市と連携した婚活イベントの開催や、婚活支援事業等を実施している。令和5年度から、

いばらき出会いサポートセンター登録料の助成、小美玉市結婚推進事業実行委員会による事業再開をする。子育て支援は、ランドセル贈呈事業や、市独自のマル特制度など多種多様な事業を行っている。令和5年度からは、乳児用紙おむつ購入費用の一部助成を行う。

Q つくばエクスプレスの茨城空港延伸について

A 企画財政部長 TX水戸・茨城空港延伸促進協議会が設立され署名を要望書と共に県に提出した。小美玉市商工会壮青年部では、市内の年長児に、「つくばエクスプレスを茨城空港へ」と題した塗り絵イベントを開催し、市は後援として、その取組を応援している。茨城空港への延伸は、本市のみならず、茨城県全体の均衡ある発展に資すると考えている。茨城空港方面の優位性を出しつつ、市民の延

伸を熱望する声を汲み取り、関係機関との連携を深めながら、引き続き実現に向け取り組んでいく。

Q 空のえき「そららら」の拡張計画について

A 産業経済部長 イベントによる集客に頼っており、店舗の魅力発信による集客力に課題がある。施設の外側に開かれた施設づくりと、地域住民から日常的に利用される施設づくりが必要である。臨時駐車場が遠い、休憩スペースが少ないなど課題がある。アンケート調査で不満な点として挙げられたのは、食べるもの、特にデザートが少ない。子ども用の遊具が少ない。休憩場所が少ない。トイレの位置が駐車場から遠いなどがある。これらの課題を解消し、より魅力的な施設にするため、新たな機能を追加し拡張を行うために基本計画を策定した。

その他の質問
 ・石岡地域の産科開設に向けた取組について
 ・人生設計や、自分の将来をイメージできるような教育について
 ・市内商工業者の高齢化や後継者不足について
 ・女性活躍推進事業について

伸を熱望する声を汲み取り、関係機関との連携を深めながら、引き続き実現に向け取り組んでいく。

市民サービスのより一層の向上が図れる行政改革を

最小の経費で最大の市民サービスを実現する



長津 智之



Q 市の行政改革についての基本的な考え方や基本施策について伺う。

A 総務部長 本市は、令和3年に策定した第4次行財政改革大綱の中で、①行政評価の推進と事務事業改善②ファシリテスマネジメントの推進③公平で透明な入札執行④定員管理と人事評価、⑤健全な財政運営の推進、⑥広域行政の推進の6つの基本施策を示している。

Q 新型コロナウイルス感染症の問題や行政デジタル化など新しい課題に対する取組が求められている。生活様式が変わるほど変革の時代にふさわしい大胆で柔軟、スピード感ある行政改革を推進する中で、新たな課題にどのように取り組んでいくのか伺う。

A 総務部長 新型コロナウイルス感染症に対する取組として、非接触型のオンライン申請の構築、

テレワークの推進、キャッシュレス拡充など新しい生活様式を踏まえ、新たな施策を展開すると共に、行政のデジタル化による業務改革の徹底等を図りながら、利用者の視点を中心に行政サービス改革を徹底し、利用者から見えて一連のサービス全体が、「すぐ使えて」、「簡単で」、「便利な」行政サービスを実現していく。

Q 令和5年以降、2年に1歳ずつ定年が引き上げられ、令和13年4月に65歳定年となるが再任用制度について伺う。

A 総務部長 令和5年度から定年引上げに伴い、60歳を超えての管理監督職は任用しません。また、新たな再任用制度を運用することになり、原則、非管理職での任用となります。これに合わせて現行の再任用職員につきましても、非管理職として任用することになります。



基地施設周辺の生活環境の整備（交付金・補助金）を

今後も地元の方々の要望に沿えるように事業推進・補助金の有効活用に努めていきたい

長島 幸男



Q令和2年度、令和4年度の実績について

A都市建設部長 交付金・補助金の種類については「特定防衛施設周辺整備調整交付金」、「再編関連訓練移転等交付金」、「障害防止事業費補助金」及び「民生安定施設整備事業費補助金」の4つがあり、それぞれ合計で2年度16億9400万円、3年度9億8700万円、4年度はまだ確定していない。事業としては、小美玉温泉ことぶき駐車場の整備、小川地区の市道整備、ため池の浚渫工事、小川北義務教育学校の体育倉庫建築・防音工事、旧橋小跡地整備の設計、消防分団機庫建設、小川文化センターアピオスの改修、継続事業として水道管布設替え事業等また各種基金への積み立てなどである。5年度の予算については、継続事業として、水道管の更新事業、市道整備、防犯カメラ設置、旧橋小跡地整備の実設計等を予定している。

Q基金の用途・計画について（橋小跡地・校舎等の移転補償費6億7800万円）

A都市建設部長 小川南小の整備等に予定していたが、国庫補助や合併特別債を活用して整備が既に完了しており公共施設整備基金に積み立てることで、公共施設整備事業の財源として市の全体の利益のために有効に活用していきたい。

【要望】今後もこれらの補助金を有効に活用して、優先的に周辺地域の道路と、今後、予定されている小学校の跡地整備、公園等の財源として推進してほしい。また、基金は老朽化している小川運動公園の整備等、橋地区のための整備基金として考えてほしい。

その他質問

- ・高齢者福祉計画、第8期介護保険事業計画について
- ①4つの基本目標・施策についての実績及び今後の課題は。
- ②介護保険料について

海外への販路開拓や空港活用などの考えは

新たな販売先開拓のため意欲ある農業者の補助制度を創設し支援していく



戸田 見良



Q農業行政について

市長施政方針の中で茨城空港の利活用や農畜産物の普及促進を図るため、販路開拓に触れてあるが、農畜産物生産者の稼働力を考えたときにどのような成長戦略を考え、海外への販路開拓や空港活用などの考えがあるか。

A市長 農産物の魅力を発信するため、小美玉市農産物等ブランド化推進協議会を新たに設置し、小美玉ブランドとなる農産物を発見、育成、ブランド認定することにより有利な販売につなげ、持続可能な農業を推進していく。また、有利な販売につなげるためには新たな販売先の開拓が重要であるため、国内、海外を問わず販路拡大に意欲のある農業者の補助制度を創設し、支援をしていく。

Q商工業行政について

小美玉市として中小企業へできる役割はどんなところがあるのか。

A産業経済部長 市では金融支援（資金調達、融資保証料補助・借入金利引下げ・運転資金調達）、団体支援、雇用支援の3つの柱で支援を行っており商工会と連携して事業継続することが重要であると考えている。

その他質問

- ①男女が活躍できる社会環境について（女性活躍・女性定住の現状。高齢者男女の活躍の場は）
- ②子育て援助活動の現状は。ファミリーサポートセンター事業の活用は。
- ③新型コロナウイルス対策（小美玉市でのマスク着用緩和について。失業者や年金生活者の支援について）

つくばエクスプレス（TX）の茨城県内延伸について：
県の方針が絞られてきたが今後市はどの様に動くのか

市民の声を汲み取り、実現に向け活動を進めていく



真家 功



Qこれまでの県への要望活動について、いつ頃どのように行なってきたのか具体的に伺う。また、TXを茨城空港へと熱い思いの2万3000人を超える署名が集まったと聞いているが、この2万3000人を超える署名の重みをどのように受けとめているのか伺う。

A企画財政部長 このTX水戸・茨城空港延伸促進協議会が連携し、のぼり旗や横断幕による啓発や署名活動を行ってきた。そして、令和4年8月24日に、協議会の発起人である5市1町の各首長、議長、商工会長が茨城県副知事に対し、要望書とともに9万3441名（小美玉市・2万3023名）の署名を添えて要望活動を行った。この署名には市民の思いや市内外の空港利用者の思いが詰まっており、大変重く受け止めている。なお、TX茨城空港延伸協議会期成同盟会が、令和4年11月18日に、茨城県に対して要望活動をしていただいた。

Q知事要望を踏まえた今後の動きについて市長に伺う。県第三者委員会での最終結論は31日である

A市長 TX水戸・茨城空港延伸促進協議会は、地元選出の議員が顧問となっており連携を図っている。引き続き、地元選出県議の協力や市民の延伸を熱望する声を汲み取りながら実現に向けて取り組んでいく。

【要望】つくばエクスプレス（TX）の茨城県内延伸については、市として、将来にわたる重要なプロジェクトとして、我々の子ども、孫のためにも今しっかりと取り組んでいかねばならない責任がある。実現に向けて市の決意・姿勢は、重要である。茨城空港地元自治体として、今しっかりと責任を果たし、取り組むことを要望する。

その他質問
文化財の保存とDXを含めたまちづくり等への活用について

市内ZEB化に向けて太陽光パネルと蓄電池の補助を提案

ZEB化、ZEH化への具体的な制度設計について検討していく



村田 春樹



QDXについて現在の取組状況を伺う。

A総務部長 EVスタンドは、市内公共施設には設置されていない。ゼロカーボンシティを進める上で、公共施設へのEVスタンド設置、公用車のEV化の必要性は十分認識している。公用車のEV化は、令和5年度中にEV車導入に向けて公用車整備計画等を策定し、令和6年度から、老朽化した公用車の更新に合わせ、計画的にEV車の導入およびEVスタンドの設置に取り組んでいく。また、ZEB化について、建物の建替えや大規模改修には、断熱性が高い素材や照明のLED化を努めているが、今後は、公共施設建築物系個別施設計画に基づく建築物の建替えや大規模改修などに合わせて、有利な財源を活用しながらZEB化の推進を図っていく。今後、策定予定の地球温暖化対策実行計画・区域施策編において、脱炭素を推進する区域を検討するとともにZEB化、ZEH化への具体的な制度設計について検討していく。

Q市内公共施設に電気スタンドの設置、市の公用車のEV化、市内公共施設ZEB化について提案したが、現在の取組、また今後の取組について伺う。また、市内ZEB化に向けて面積を指定し太陽光パネルと蓄電池の補助を提案する。

A総務部長 EVスタンドは、市内公共施設には設置されていない。ゼロカーボンシティを進める上で、公共施設へのEVスタンド設置、公用車のEV化の必要性は十分認識している。公用車のEV化は、令和5年度中にEV車導入に向けて公用車整備計画等を策定し、令和6年度から、老朽化した公用車の更新に合わせ、計画的にEV車の導入およびEVスタンドの設置に取り組んでいく。また、ZEB化について、建物の建替えや大規模改修には、断熱性が高い素材や照明のLED化を努めているが、今後は、公共施設建築物系個別施設計画に基づく建築物の建替えや大規模改修などに合わせて、有利な財源を活用しながらZEB化の推進を図っていく。今後、策定予定の地球温暖化対策実行計画・区域施策編において、脱炭素を推進する区域を検討するとともにZEB化、ZEH化への具体的な制度設計について検討していく。

羽鳥駅東口市有地の今後の利活用は

公設による（仮称）羽鳥駅東口複合施設を検討している



小川 賢治



羽鳥駅東口
市有地と駅舎▶



- 1 都市建設行政**
- ①「まちの灯台」 羽鳥駅周辺について
- Q** 東口市有地の今後の利活用について伺う。
- A** 都市建設部長 防衛省の補助事業である「まちづくり支援事業」を活用し、公設による整備を視野に入れ、（仮称）羽鳥駅東口複合施設を検討している。
- Q** 具体的にはどのように。
- A** 都市建設部長 羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンター及び美野里公民館図書室の機能移転として規模を設定し、小美玉市新まちづくり構想等策定委員会の中で具体的検討を進める。
- ②市営駐車場について
- Q** 1年間に利用される車両で無料、有料を含めての利用台数は。
- A** 都市建設部長 令和3年度で年間約2万2000台月平均1800台である。
- Q** 市内・市外の方が利用しやすい環境の改善はどのようにか考えるか。
- A** 都市建設部長（仮称）羽鳥駅東口複合施設の利活用も考慮に入れた運営方法を検討し、使いやすい環境創出に努める。
- 2 環境行政 本市の放置空家の現況について**
- Q** 放置空家の戸数は。
- A** 市民生活部長 平成27年の実態調査の結果540戸を確認。その後、新たに判明した空き家を加え、現時点で659戸の放置空き家を把握している。
- Q** 対応状況を伺う。
- A** 市民生活部長 管理不全の空家等については、職員が現地を確認、改善指導を行っている。状態が悪い空き家は、職員が直接所有者の自宅を訪問し指導している。特定空き家等に認定された場合には、法に基づく行政措置を行っている。
- Q** 有効活用について伺う。
- A** 市民生活部長 利用可能な空き家の有効利用を促進するため「小美玉市空き家バンク」を運営している。来年度の固定資産税納税通知書には、空き家バンクの周知等を目的としたチラシを同封し、登録物件及び利用者の増加等を図っていく。
- 3 観光行政 おみたま花火大会（仮称）の開催について**
- Q** 本市のにぎわいの創出、経済波及について伺う。
- A** 産業経済部長 交流人口の大幅な増加が見込まれ、小美玉市のイメージアップにより大きな経済効果が期待できる。
- Q** 安全対策について伺う。
- A** 産業経済部長 幅員の狭い道路が多いため、周辺地域が混乱しないよう地区住民に対し、事前周知を十分に行う。

ヤングケアラー問題の支援策に更なる一歩前進を

新設の家庭子どもセンターを中心に調査研究を進める



香取 憲一



- Q**（兵庫県小野市役所の視察研修を元に）小美玉市の人事・業績評価について
- A** 総務部長 本市の人事評価は能力評価と目標評価の2種類で評価を行っている。
- Q** 人事業績評価で民間企業の視点・手法に取り組むべきではないか。
- A** 総務部長 人事評価審査委員会において、総合評価を査定して勤勉手当（ボーナス）に上乘せもしくは減額という形で反映させている。
- Q** 職員の皆さんの更にもやる気や勤労意欲を高めるために、階層別教育の徹底は必要不可欠と考えるが。
- A** 総務部長 公平適正な人事評価確立に向け、階層別の評価基準を統一し今後研修等を充実させていく。
- Q**（兵庫県神戸市役所の視察研修を元に）外部通報窓口を通しての内部通報相談窓口の体制について
- A** 副市長 この体制の設置については弁護士へ依頼し、4年度当初から外部通報窓口を設置したが、職員へのアンケート調査結果では窓口設置の周知度が56.6%に止まっていく現状となっている。
- 【要望】** 利害関係のない第三者に、まずは報告相談できる体制が整っている事を多くの職員の皆さんに周知していただく事が不祥事やハラスメント事案防止に大きく寄与するので、1日も早い周知徹底を要望する。
- Q**（群馬県高崎市役所の会派視察研修を元に）ヤングケアラーの問題について
- A** 教育長 市内各学校で気になる児童や生徒を早期に見出すために、相談しやすい環境づくりに努めている。本市の現状では深刻な状況にはまだ陥っていないと認識しているが、引き続きこの問題に対して調査研究を進めていく。
- 【要望】** 高崎市の全国に先駆けて設置したヤングケアラー窓口の支援体制を参考に、小美玉市の子ども達の「見えない姿」「声なき声」を見逃す事のない様問題解決に向けて一歩踏み出して欲しい。また、その一歩が市役所の縦割り行政に一石を投じ、更に前進できる事と確信する。

議会に関する今後の展望や動向について、当該誌面の文字の大きさやイラストなどが創意工夫されて見やすく購読させていただいております。引き続き、最新の情報発信をよろしくお願いいたします。(羽鳥・S)

いつも拝読しております。審議の様子が読みやすくまとめられていて、とても分かりやすいです。映像配信ぜひ視聴させていただきます。(中台・A)

今まで読んだことがない議会だより、クイズを解くために読んでいくうちに、小美玉のことがわかり興味ができました。(小川・M)



映像の配信を見ました。QRコードがあることで、すぐに見ることが出来ました。進んでいるのですね。市議会だよりから詳しく審議内容を知ることが出来るのですね。(笠間市市野谷・E)

12月定例会からインターネット映像配信が始まり、役所に行かなくても随時視聴できるようになり、会議の様子が可視化でき、とても素晴らしいです。(中延・G)

市議会だよりを通して、今の小美玉市の状況、議員さんの考え、学べました。公共施設の職員さん(公民館、図書館、安らぎの里)も、いつも親切で感謝しています。(山野・M)

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。

第67回 プレゼントクイズ

今回の議会だより第69号の中から、問題を3つ出題します。正解した方の中から抽選で、10名の方にキャトル・セゾン 森のパン屋 パンファクトリーキャンドル と 空のえきそ・ら・ら「フードコートレストランかぐや」で利用できる食事券(2,000円分)をプレゼントします。ぜひご応募ください!

◇応募方法 はがき・FAXのほか、下記のQRコードから住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

◇締め切り 令和5年5月31日(水)まで
*当日消印有効



応募用QR

◇応募先 〒319-0192 小美玉市堅倉835
小美玉市役所議会事務局宛 FAX: 0299-48-1199
☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。
☆クイズ当選者の発表は食事券の発送をもってお知らせします。

- 問① 令和5年度一般会計当初予算〇〇〇億円を可決
- 問② 代表質問は〇〇を代表した議員が行う
- 問③ 令和5年第1回定例会審議件数は全〇〇件

◆第66回クイズの正解: 問①映像配信 問② 19 問③ 14

会議録検索システムをご利用ください

市議会のホームページから会議録を簡単に閲覧・検索できます。「会議録の閲覧・検索」をクリックすると検索画面に移ります。日付や気になるキーワードなどを入力すると簡単に検索できますので、議会で何が議論されているかぜひご覧ください。



常任委員会活動報告

総務

期 日 令和5年1月24日(火)～25日(水)

視察内容 ◆ 行政経営・方針管理について(兵庫県小野市)
小野市は、行政経営の4つの柱として、顧客満足度志向・成果主義・オンリーワン・先手管理を挙げ、民間企業の発想と経営手法を取り入れている。そこで、行政運営の仕組みや具体的な手法、職員の意識改革や実行への導き方などについて研修しました。

◆ 内部通報窓口について(神戸市)
神戸市では、市民の安全・安心を確保することを目的に、組織の自浄作用の発揮とコンプライアンスを推進し、小美玉市の取り組みに役立てるため、窓口体制や運用上の改善点・配慮すべき点などについて研修しました。



文教福祉

期 日 令和5年2月7日(火)～8日(水)

視察内容 ◆ 0歳児見守り訪問「おむつ定期便」
◆ 高齢者、食を通した見守り「みんなの給食」について
(兵庫県明石市)
9年連続人口増となっている明石市が選ばれる理由について、多くの施策の中から、2つの事業について背景及び経緯、その基礎となった関連法や条例及び理論、担当職員の配置及び予算などについて調査し、これからの小美玉市の人口増加の参考とするため、その効果や課題について研修しました。

◆ 部活動「地域移行」の課題について (岡山県赤磐市)
中学校部活動の地域移行が目前に迫っているなか、赤磐市では、モデル校となって先進的に取り組みを実施しています。事業概要、事業の財源や見えてきた課題など事業のあり方や役割など参考にすべき事項について研修しました。



産業建設

期 日 令和5年1月31日(火)～2月1日(水)

視察内容 ◆ 空港活性化対策、オスプレイの安全性について(佐賀空港)
利用促進策対策として、戦略的な営業活動や先進的な利用促進策、また、オスプレイの安全性や配備計画などについて研修しました。

◆ 熊本地震からの復旧・復興について(熊本市)
熊本地震の被災中、情報収集が困難な時のLINEを活用した事例や、震災後に市民・企業・行政が一体となった防災訓練を研修しました。



若者の政治意識をより高く

議員インターンシップ制度により、大学生が本会議を傍聴に訪れました。この制度は、若者の政治への興味関心を喚起することで、若年層の政治離れを抑止し、社会経験を通じた人格の形成を目的としています。



▲写真左から 山本冬花さん（茨城大学1年）、渡邊夏子さん（茨城大学2年）、富田千裕さん（茨城大学2年）

・小美玉市議会や市役所各部署、百里基地研修と普段経験できない様々な勉強が議員さんの活動を通して経験でき、本当にありがとうございました。
茨城大学1年 山本冬花

・議会傍聴、保育園の現場研修や百里基地研修など、たくさんの議会議員研修を経験できた事で、政治や行政に関心を持ち、若年層の投票率改善の重大さを実感できました。
茨城大学2年 渡邊夏子

・小美玉市の課題や現状を理解することができました。また、議員さんたちが、市民の立場でより良い小美玉市にするにはどうすれば良いのかを熟考し、こと細かに政策を考えている姿がとても印象的でした。
茨城大学2年 富田千裕

6月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31 本会議 (開会、議案説明等)	1	2	3
4	5	6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10
11	12 常任委員会	13 常任委員会	14 常任委員会	15	16 本会議 (報告、採決開会)	17

*議場（市役所本庁舎3階）での傍聴には、簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要です。

*委員会等の詳しい日程については、5月30日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

*市ホームページから本会議の様態をインターネット配信しております。パソコン・スマートフォンからご視聴できます。また、本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所1階ロビーに設置されているTVモニターでもご自由にご覧いただけます。（受付不要）

会議の種類	傍聴	インターネット中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

次の定例会は
5月31日（水）開会予定

編集後記

桜花爛漫の季節となりました。国道6号の桜も見事に咲きほころびました。春の季節となり、卒業式・入学式と希望溢れる時がきました。

令和5年第1回定例会は、2月28日に開会し、3月23日までの24日間にわたり慎重なる審議、審査を行い全議案原案のとおり可決されました。今議会は予算議会と称され、予算特別委員会を開催し、慎重なる審議を行いました。令和5年度予算については、一般会計予算220億円対前年度比3.8%と積極的予算が執行されることとなりました。令和5年度予算は新市長による初めての編成予算であり、「小美玉新時代」に向け大いに期待するものであります。

新型コロナウイルス感染症対策は、一定の規制が緩和されましたが、ウクライナでの戦争による急激な円高、物価高騰等まだまだ乗り越えなくてはならない事もたくさんあります。執行部と共に一丸となって解決策を講じ、住民福祉の向上を目指し邁進してまいります。

真家 功

発行編集責任者	議長	荒川 一秀
広報特別委員会	委員長	戸田 見良
	副委員長	香取 憲一
	委員	植木 弘子
	委員	鈴木 俊一
	委員	島田 清一郎
	委員	長津 智之
	委員	真家 功

